

イスラエルの停戦違反900件

パレスチナ・クロニクル・スタッフ

パレスチナ・クロニクル、アル・マヤディーン、2025年12月23日、協浜義明訳



ハマス政治局の上級幹部ガジ・ハマド。(Photo: video grab)

ハマスはガザ停戦を守っているけれど、イスラエルは約900件の停戦違反をし、ガザ支配を強化・継続する計画で、第二段階への移行が危うくなっていると警告した。

ハマスのガジ・ハマドは、今日も、ハマスが停戦合意の遵守を維持すると表明し、条件が明確に規定され、双方が合意すれば、ハマスは第二段階に進む用意があると言った。しかし、彼は、イスラエルの停戦違反行為の継続でイスラエルへの信頼が崩れ、イスラエル政府の意図に疑惑を抱くと述べた。

彼は、ロシアのRIA ノーボスチ通信に対し、ハマスは関係者すべてが合意する枠組みが成立したときに、第二段階に進むと言った。同時に、度重なるイスラエルの攻撃は停戦違反になるばかりでなく、停戦の長期的継続を脅かすものだと強調した。

彼は、ガザ回廊への国際安定化部隊の展開という案には、原則的に「有益」だと言ったが、その任務は停戦維持と挑発行為の阻止という限られた任務に限定されるべきだと強く言った。

先週末に、ハリル・アル・ハヤ率いるハマス代表団がイスタンブールでトルコ情報機関のイブラヒム・カリン長官と会談した。協議内容は、停戦合意の実施、イスラエルによる第一段階の遵守、そして第二段階への準備であった。

これとは別の会談が、米国、エジプト、カタール、トルコの間で、19日に、マイアミで開かれ、第一段階実地状況の査定と次の段階への移行の準備が協議された。この仲介者会議は、ガザの戦後統治と復興に関する幅広い国際的取り組みの一環であった。

他者が停戦や復興を議論する中、破壊した張本人のイスラエルは、10月10日の停戦発効後も、爆撃、即決処刑、インフラ破壊などを続け、ハマスはイスラエルが「900件以上の停戦違反」を犯したと指摘している。イスラエルの違反行為により、400人以上のパレスチナ人が殺害され、95%以上が民間人であると報じられている。

停戦合意で規定されているにもかかわらず、イスラエル占領軍は規定の境界や緩衝地帯を超えて軍を進めている。また、抵抗勢力を助けることになるという懸念を上げて、人道支援物資のガザ搬入の制限を続けている。停戦違反監視委員会に合意されたにもかかわらず設置されず、ラファ・クロッシングは閉鎖されたままで、人道支援物資の移送を妨げている。

第二段階では、「イエローライン」で規定された地域からのイスラエル占領軍の撤退、復興工事の開始、限定的任務の国際安定化部隊の展開が予定されている。ハマスは、パレスチナ人がガザ治安の責任を担い、外国による統治や占領軍のガザ駐留を拒否すると繰り返し主張している。ハマスは、国連安保理が承認した米国主導の外国人によるガザ統治案にも強く反対している。トランプを委員長とする外国主導のテクノクラート機関と治安部隊がガザを監視する仕組みだ。このような仕組みはパレスチナ人の自決権を損ない、外国による恒久的なガザ支配を定着させる危険があると、批評家たちが指摘している。